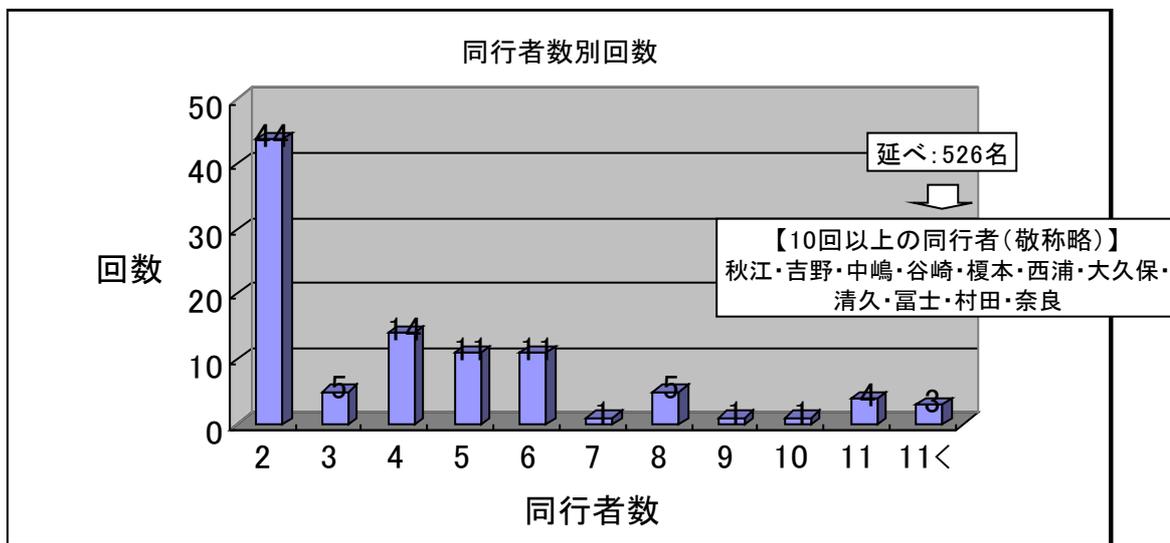
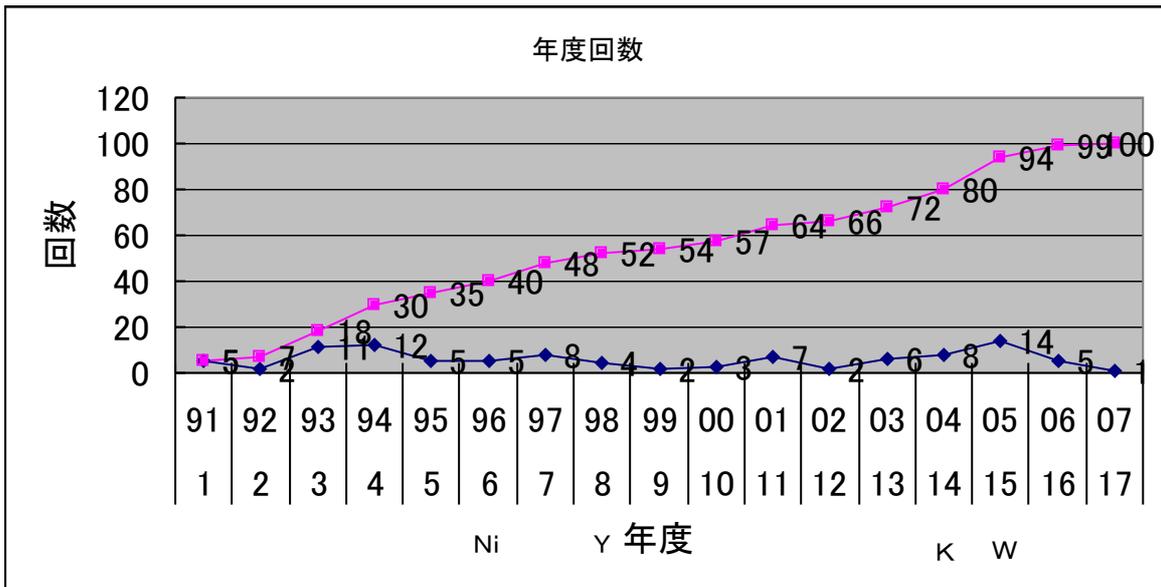


百名山登頂の記録

07.6.2 マタビ会 貫井



◇主な記録

- NO.1 91/6/18 雲取山 谷崎・富士・堀切
(一山目) 6月第2週の田部祭に合わせて登る。酒と山菜てんぷら食べ放題。
雨中の後山林道が長かった。食堂がなくて・・・
- No.2,3 91/8/14,15 五竜岳、鹿島槍ヶ岳 谷崎・富士・西浦
(二三山目) 富士さんにだまされての北アルプス初縦走。高山植物に魅せられ、岩場とブロッケン初体験。
腹の調子が悪く、針ノ木岳はパス。種池から扇沢へ一人下山
- No.13,14 93/8/12,13 悪沢岳、赤石岳 吉野・谷崎・富士・
台風接近の情報の中、榎島へ。翌日も午前中は雨。千枚岳以降悪沢岳、赤石岳は快晴。
雲海に浮かぶ北ア、南ア、中央アの山々や富士山に見とれた。
帰路榎島～草薙ダム間の落石の影響で足止め。ヒヤヒヤしたが何とかバスが出てホットした。
2日目に泊まった千枚小屋がこの年の10月に焼失した。
- No.23,24 94/8/13,14 木曾駒ヶ岳・空木岳 吉野・谷崎・西浦・中村・篠塚
前日近所の火災の手伝いでクタクタ。途中リタイヤも考えたが・・・
木曾駒、宝剣はガスと強風。疲れきったが、木曾殿山荘の赤い屋根がみえた時はホットした。
空木岳では最高の展望。

- No.33,34 95/8/14,16 大雪山、トムラウシ 中嶋・大久保・村田AB・秋江
重量表を作成してなるべく軽く。それでも身体より大きなザックのポーター大久保さん。
白雲岳でのテント泊。雨と強風。となりの村田邸が揺れていた。忠別避難小屋に避難、臨時泊
縦走中、遠くに見えたトムラウシに到着した時は感激。日本庭園も高山植物も見事。
最後の天人閣もよかたな～
- No.51,52 98/8/10,11 剣岳・立山 秋江
剣岳を見ながら剣御前小屋前のテント場でゆっくりと夏山を楽しむ。
立山へはガスの中、風が冷たかった。雄山神社を参拝。
- No.56,57 00/8/15,17 間の岳、塩見岳 榎本・大久保・清久・秋江
農鳥小屋と熊の平小屋のオヤジが怒鳴りまくっていたが、我々には親切だった。
三伏小屋で外人と日本人のカップルと同宿。ジャンボタクシーで日帰り温泉へ
外人もドボ～ん。『旅は道連れ世は情け』を覚えてくれただろうか？
- No.60,61,62 01/8/12,13,14 薬師岳、鷲羽岳、水晶岳 清久・大久保・伊藤哲・秋江
雨の薬師岳登山後、太郎小屋で大久保・伊藤哲の両氏は下山
薬師沢小屋から雲の平へ。3日間かけて到着した者だけが味わえる景観にルンルン気分
三俣山荘で清久さんと別れ、鷲羽・水晶へ。
水晶から野口五郎、烏帽子間は静かな歩き。コマクサを満喫した。
- No.69,70 03/9/13,14 鳥海山、月山 秋江
初秋の山と温泉ドライブ。御浜小屋は2人占め。鳥海は静かで展望も最高
月山はガスと強風でリフトが時々止まる。500円払って山頂へ。
悪天候で花も見えず展望も無いが、外人も交えた白装束の信者が目だった
- No.75 04/8/13 飯豊山 秋江
好天の中、川入から飯豊へ。村正荘の人、同宿の女性、4人組、飯豊オタク・色々な人と
出会いました。飯豊オタクとは磐梯山でも再会。
強風で朝起きたら、周りのテントが消えていた。縦走をあきらめて雨の中を引き返した。
- No.83 05/5/22 宮之浦岳 秋江（山溪75周年記念企画）
荒川口から屋久杉を見て永田岳と宮之浦岳を目指す。
屋久島名物の雨の中の登頂。屋久島シャクナゲのトンネルがすばらしかった。
厳しいガイドの言動が悔しいけど勉強になったツアーだった。
- No.82,83 05/8/5,6 皇海山、平が岳 中嶋・秋江
変な組み合わせだが、難しいと思っていた2山をクリアー。
皇海山への登山口を目指す、栗原川林道で思わぬパンクのアクシデント。
銀山平の民宿『白光』のバスで林道終点へ。ショートカットの楽々コースで平が岳へ
平が岳の象徴、玉子石と雄大な湿原を楽しんだ
- No.89,90 05/8/13,14 斜里岳、羅臼岳 秋江
斜里の登山基地、1泊1,500円の『清岳荘』を独占。オホーツク海の漁火と無数の星と流星と・
沢を13回渡ってたどり着いた斜里岳は360度の展望。山はすでに秋、花は終わっていた。
ウトロの混雑にビックリ。温泉付きの山小屋『木の下荘』は常連客が豪華な夕食。我々は・
羅臼へはコンビニのビニール袋一個で登る仙人のような人がいた。羅臼平からの羅臼岳が大きい
- No.98 06/8/28 幌尻岳 秋江(アルパインツアー)
玉山でお世話になった鈴木たかちゃんと再会。この山で百名山達成者3名参加
額平川の渡渉35～36回。最初は恐る恐る、慣れるに従がい、バシャバシャと・楽しみました
天候悪化の情報で1日早く下山。14時間の歩行
- No.99 (リーチ) 06/9/9 雨飾山 秋江
7/2,3に深田久弥氏ゆかりの山田旅館に宿泊し登頂を目指したが、雨で断念
9/9の天気予報とにらめっこして、ヨッシ！と出発2度目の挑戦で登頂
甘く見ていたが雪渓、岩場、ハシゴ、急登と変化のある、登りごたえのある山だった。
- No.100 07/6/2 赤城山(黒檜山) お世話になった皆さん大勢
百名山フィニッシュ。お世話になった方々に同行いただき感謝 (^_^)☆

— 以上 —

07/5/20 貫井記